
特定非営利活動法人 わおん 令和3年(2021年)度 事業報告書

こどもたちがもっと元気に輝く地域に！

NPO法人 **わおん♪**



〒399-0704 長野県塩尻市広丘郷原685

TEL : 0263-87-3005 FAX:0263-87-4024

E-mail : waon@npowaon.com

<http://npowaon.com>

わおん 松本平

検索

2021年度事業の成果・総括

- ・新型コロナウイルス感染症の対策をしながら事業を実施した。塩嶺体験学習の家の委託事業は中止が多かったが、それ以外は一部日帰りに変更した程度で、おおむね予定通り事業を実施することができた。
- ・塩尻市から無償譲渡を受けた旧柏茂会館について、名称を決定したり、修繕費などの寄付集めをクラウドファンディングを活用しておこなったり、元気づくり支援金の補助を受け、建物の修繕や手直しなどをおこなったり、徐々に整備されてきた。
- ・わおん♪キャンプへの子どもの申し込みが多く、抽選せざるを得ない事態になっている。事業数を増やすために、スタッフの充実や新しい活動拠点の検討などをすすめ、希望する子どもたちに体験の機会を提供できるようにしていく必要がある。

♪事業の実施に関する事項

一 特定非営利活動に係る事業 一

1：環境と子どもに関わる体験事業

1-1 わおん♪自然探検隊/主催事業

(子どもゆめ基金助成事業／2010年度より継続事業)

日程：

4月10日	第1回 入隊式 参加者47人 スタッフ11人
5月8日	第2回 外あそびの達人になろう① 参加者41人 スタッフ12人
6月12日	第3回 外あそびの達人になろう② 参加者40人 スタッフ12人
7月10日	第4回 ひみつ基地へ行こう 参加者35人 スタッフ9人
8月6日-7日	第5回 夏のキャンプ1 参加者15人 スタッフ11人
8月7日-8日	第5回 夏のキャンプ2 参加者20人 スタッフ11人
9月11日	第6回 ひみつ基地であそぼう 参加者35人 スタッフ6人
11月6日-7日	第7回 秋のキャンプ1 参加者18人 スタッフ8人
11月13日-14日	第7回 秋のキャンプ2 参加者14人 スタッフ13人
12月18日	第8回 里山のクリスマス会 参加者30人 スタッフ12人
1月22日	第9回 冬の森であそぼう 参加者28人 スタッフ6人

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



会場：げんすけの森柏茂交流会館、上小曾部転作促進研修センター

参加者：小学校3年生～中学校3年生 延べ323人（↑175人）※前年比

スタッフ数：延べ111人

事業収益：1,707,000円（↑793,441円）

（子どもゆめ基金720,000円、参加費収入987,000円）

成果：

2010年度から活動をはじめ、12年目となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下、新型コロナ）があったものの、人数を分散するため2回に分けることで、宿泊事業も実施することができた。昨年度は、信州大学や松本大学の学生さんに関わってもらえたが、今年はスタッフ参加してくれた。

課題：

新型コロナにより、活動の回数を増やしたため、経費や労力の負担は増えた。他の事業が展開できるよう、探検隊の事業当日の運営体制を変えていきたい。いろいろなスタッフに、全体進行や全体統括をお任せしていくようにしていく。

例年、オープン企画として実施している「第8回クリスマス会」は、昨年に引き続き探検隊のことのみの活動とした。

1-2 森カフェプロジェクト（ハイジの森）/主催事業

（信州環境カレッジ2019年度～／2015年度より本格実施事業）

◆通常森カフェ

4月～3月 延べ31回（↓10回）

参加者 0歳～保護者まで 延べ267人（↓281人）

◆森カフェイベント：

4月18日(土)	森林セラピート体験	参加者5名
5月1日(土)	グリーンウッドワーク	参加者14名（付き添い4名）
6月20日(土)	森林ヨーガ体験	参加者12名（付き添い5名）
10月23日(土)	森林ヨーガ体験	参加者6名（付き添い2名）
10月24日(日)	森でハロウィーンパーティー	参加者28名
10月31日(土)	森林セラピート体験	参加者10名
11月21日(日)	庭木のお手入れ	参加者10名
参加者合計 85人（↑42人）		

会場：ハイジの森（イベントは、上小曾部転作促進研修センターも利用）

事業費：

◆通常森カフェ

参加費：96,550円（↓82,850円）

◆森カフェイベント

参加費：133,000円（↑59,500円）

助成金：信州環境カレッジ 60,000円

成果：

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



森カフェ本格開催から7年目となった。通常の森カフェは、森カフェコーディネーターの方に開催をお任せし、他の事業と重なっても森カフェが開催できる体制となっている。

新型コロナウイルスの対策として、事前予約を継続しておこなっている。参加者がいないときは待機しなくてもよくなり、コーディネーターの負担を減らすことができている。事前予約は今後も継続していきたい。

森カフェイベントは、希望者からの提案によって企画・実施を行っている。他の事業と重なっても実施できる体制ができてきている。

課題：

森カフェは、森カフェコーディネーターの仕事の都合で、令和4年度からはすべてをお任せはできなくなった。事務局で担当しながら、平日に協力してもらえるサポートを見つけていく。

平日の参加者が減ってきてている。平日の参加者開拓は、年度が変わるたびに必要になる。PRを工夫していく必要がある。

森カフェイベントは参加者は定員まで達しなかったが、実施することができた。信州環境カレッジを活用して実施したが、補助金がないと経費的にちょっとくるしい運営となっている。

1-3 県外・市外の子どもたち向けのキャンプ実施

◆わおん♪キャンプの実施/主催事業

(2017年度より継続事業)

5月29日-30日 救済キャンプ：わおん♪ツリーハウスキャンプ →中止

6月5日-6日 救済キャンプ：わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 10人 スタッフ7人

7月22日-23日 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 18人 保護者1人 スタッフ7人

7月24日-25日 わおん♪ひみつ基地探検隊 森編

参加者 17人 保護者1人 スタッフ10人

7月31日-8月1日 わおん♪ひみつ基地探検隊 川編

参加者 18人 保護者1人 スタッフ8人

9月4日-5日 わおん♪動物キャンプ →5日のみの日帰りに変更して実施

参加者 7人 スタッフ5人

9月18日-19日 わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 8人 保護者1人 スタッフ6人

9月25日-26日 わおん♪ひみつ基地探検隊 森編

参加者 12人 保護者1人 スタッフ7人

10月2日-3日 救済キャンプ：わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 9人 保護者1人 スタッフ6人

10月16日-17日 救済キャンプ：わおん♪ツリーハウスキャンプ

参加者 12人 保護者1人 スタッフ6人

3月20日-21日 わおん♪アウトドアクッキングキャンプ

参加者 17人 保護者2人 スタッフ4人

3月26日-27日 わおん♪動物キャンプ

参加者 16人 スタッフ6人

会場：げんすけの森柏茂交流会館

実施回数：11回

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



事業収益：参加費 2,313,500円（↑1,727,500円）

参加者 134名（↑80人）、保護者9人（↑6人）

スタッフ数：延べ72名

◆都市部からの学童の受け入れキャンプ/受託事業
なし

成果：継続して、松本市・塩尻市・岡谷市の後援をとり、学校にチラシを配布し、事業の告知を行った。コロナの影響か申し込みは例年よりかなり多く、夏の募集では247名の申し込みがあり、133名はお断りすることになってしまった。落選した人を対象とした救済キャンプをいくつか企画し、31名には参加してもらうことができた。春～初夏の募集では136名の申し込みがあり49名はお断りすることとなってしまった。

1つだけ、新型コロナの影響で日帰りに変更したが、それ以外は予定通りには実施することができた。

課題：申し込みが多く、参加したい人すべてに参加してもらうことが難しくなっている。センターを充実させ、担当できる人を増やすことでキャンプの本数を増やしていきたい。

1-4 塩嶺体験学習の家／受託事業：塩尻市教育委員会

（2011年度より継続事業）

内容：

5月23日 体験学習フェスティバル →中止

6月13日、9月12日、→中止

10月24日、11月28日 こども未来塾リーダー研修の運営

2020年4月～2021年3月 塩嶺体験学習の家のブログの更新

事業費：1,182,912円（委託）

会場：塩嶺体験学習の家

成果：2011年度より継続して事業が実施できている。昨年度に引き続き今年度も新型コロナの影響で中止事業が多く、委託金が減額になった。しかし、最低限の減額で対応してもらうことができた。

1-5 こどもしおじり／受託事業：塩尻市市民交流センター

（2016年度より実施）

内容：

12月11日-12日 第6回こどもしおじりの開催

2021年3月～12月 こども役員会議・実行委員会等を開催

参加者 小学3年生から中学生 119人

実際の参加者数：11日 114名、12日 110名

専門家 11日：37人、12日：30人

当日スタッフ 11日：55名、12日45名

お仕事 26ブース、アカデミー 8ブース

事業費：1,416,800円（委託）

成果：

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



例年は定員150名だが、新型コロナウイルスの対策として100名と限定して開催する準備をした。申し込みが156名あり、37名は参加をお断りすることとなった。ちょうど新型コロナが落ち着いているときだったため、リアル開催をすることができた。

課題：

今後もえんぱーくでの開催を実現するため、新型コロナの対策を検討し、実現できるようにしたい。

運営にかかるコアスタッフを増やし、事前準備をきちんとすすめられるような体制づくりをしたい。また、マンネリ化しないように工夫しながらすすめていきたい。

1-6 里カフェぽっかぽか/主催事業

(元気づくり支援金2021年度／2021年度より実施)

◆里カフェぽっかぽか

6月～3月 延べ10回

参加者 延べ62組128人

◆日程：

6月24日	参加者	8組16人
7月8日	参加者	6組12人
7月20日	参加者	9組19人
8月12日、9月9日	→中止	
9月21日	参加者	5組12人
10月14日	参加者	3組6人
10月19日	参加者	7組15人
11月11日	参加者	10組20人
11月16日	→中止	
12月9日	参加者	3組6人
12月14日	参加者	5組10人
1月25日、2月1日、15日、3月1日	→中止	
3月15日	参加者	6組12人

事業費：参加費：41,300円

助成金：元気づくり支援金

成果：

今年度より事業を開始した。6月から月2回のペースで実施し、リピーターの参加者もいて延べ62組128人の参加となった。庭で焚き火をしたり、近くの森に散歩に行ったり、とても良い雰囲気で過ごしていただけている。

課題：

継続して参加していた参加者は、年度が変わって保育園に通う子どもも多く、平日の新しい参加者開拓が必要になる。また、担当できるスタッフが減るので、事務局で対応しながら、スタッフの負担を軽減しながら活動が継続できるような体制づくりをしたい。

1-7 出前イベント／受託

日程：

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



6月19日、7月17日-18日、8月21日-22日 ジュニアリーダー養成講座 →中止
5月13日 子育てサロンののさま 内容：森カフェ
7月12日 菅野小学校 内容：自然体感プログラム
7月14日 安曇小学校 内容：上高地学習講師
8月3日 松本市エコスクール
8月9日 しおじり探検隊 森の不思議探し 依頼元：塩尻市観光協会
10月8日 片丘小学校特別支援学級遠足 内容：外あそびの達人講座
10月27日 西部中学校ふるさと学習 内容：外あそびの達人講座（たき火）
11月11日 安曇小学校 内容：自然体感プログラム
11月17日、18日 波田小学校 内容：工作
3月29日 宗賀児童館 内容：自然体感プログラム →中止

4月15日、28日、5月11日、18日、6月9日、24日、7月13日、28日
10月12日、11月10日、17日、24日、12月15日、27日、1月6日、12日
3月11日、23日、28日（19回）
沢村児童センター 内容：昔あそび、運動遊び、外あそびの達人講座

事業収益：受託金額 389,982円（↑2,800円）

成果：

沢村児童センター（旧蟻ヶ崎児童館）からは、継続して年間を通じて依頼をいただいている。
宗賀児童館についても、年間を通じて数回依頼をいただいていたが、新型コロナで中止となった。また、ジュニアリーダー養成講座についても、継続して依頼をいただいたが、新型コロナで中止となった。
松本市内の学校からの依頼も例年より多かった。

課題：

平日の出前イベントに対応できるスタッフが不足している。あらかじめ平日に活動できるスタッフの都合を把握しておき、いろいろな人で対応できるような日程を設定していきたい。塩尻市の児童館の出前イベントの依頼が減っている。また、その他からの出前イベントの受託をさらに増やすよう、積極的に営業活動をし増やしていく必要がある。

2：体験事業に関わる普及交流事業

2-1 げんすけ祭り/主催事業

（市民交流センターを活用した交流企画事業/2010年度より継続事業）

新型コロナにより中止

成果：

昨年新型コロナで中止とし、今後は柏茂交流会館で同様のイベントを実施することとしていたが、新型コロナで計画できなかった。

課題：

柏茂交流会館でどのように開催するか、検討する必要がある。

2-2 各種交流会（げんすけBar、lunch、お茶会）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



7月30日 キャンプ前日にサポートアースを中心にピザ会を実施

2-3 出張げんすけ+げんすけ縁日／コラボ企画・ブース出展

日程：

さくらフェスタ、体験学習フェスティバル、森のフェスティバル、ひらいで遺跡まつり、木育フェスティバル、ハッピーハロウィン →中止

11月20日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：9,000円

ブースでの実施内容

クラフト（小鳥のキーholder、森のオブジェ、森の写真立て 500円）

射的（100円）

たき火関係（たき火ミニ講座、スマア100円）

科学工作

げんすけの出演

クラフトグッズ、げんすけグッズの販売

事業収益（合計）：9,000円（↑3,500円）

内容：受託 0件（→）、自主的に参加 1件（→）

成果：継続して参加しているイベントに参加する予定だったが、ほとんどのイベントが新型コロナで中止となった。

課題：げんすけの出演依頼がゼロだった。

2-4 全国森カフェプロジェクト推進チーム（出張森カフェ／コラボ企画）

日程：

10月9日、3月5日 国営アルプスあづみの公園

成果：

継続して、国営アルプスあづみの公園で出張森カフェを2回実施した。今後も年間3回程度、出張森カフェを実施したいとのこと。

課題：

出張森カフェの依頼をもっと増やしていくよう、PRを実施していく。

2-5 里山子育て・子育ちセミナー・フォーラムの開催/主催事業

開催なし

2-6 関係ネットワークへの参加

◆信州外あそびネットワーク

1月9日 本部会議@オンライン

3月3日 外あそびネットワークの総会に参加

3月7日 本部会議@オンライン

3月21日 本部会議@オンライン

※信州外あそびネットワークの副代表を担当

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



※信州外あそびネットワーク事務局として会計を担当
※信州外あそびネットワークの住所をわおん内に置くこととなった

◆木育フェスティバル実行委員会

森のフェスティバル、木育フェスティバル 中止
※実施に向けて、実行委員会に参加

◆地域づくりネットワーク

やまびこネットワークに加入
地域活性化センター賛助会員

◆松本地域子ども応援プラットフォーム

5月27日 第1回運営委員会
8月27日 総会
10月27日 こどもの居場所をつくりたい人のための講座 第2回講師
11月29日 第2回運営委員会 →欠席
3月15日 第3回運営委員会

塩尻地域の活動

2月13日 「大人じゃなくてもできる！ひとの役に立つ活動」

◆中信地区環境教育ネットワーク (eenet)

5月21日 編集会議
5月30日 編集会議
6月15日 事務局会議
6月19日 編集会議
11月23日 編集会議
1月13日 事務局会議
※HP更新担当

◆NPO法人自然体験活動推進協議会 (CONE)

2月16日 CONE保険加入者ミーティング（オンライン）

◆信州こども自主活動応援基金 (げんすけファンド)

8月28日 第1回打ち合わせ
9月16日 第2回打ち合わせ
10月6日 第3回打ち合わせ
11月27日 第4回打ち合わせ
1月7日 第5回打合せ
2月3日 第6回打ち合わせ
2月13日 「大人じゃなくてもできる！ひとの役に立つ活動」
2月22日 第7回打ち合わせ
2月27日 げんすけファンド説明相談会
3月8日 第8回打ち合わせ
3月13日 げんすけファンド説明相談会→中止
げんすけファンド応募への個別相談対応

2-7 体験拠点の管理 (2020年7月～所有)

(2021年度 元気づくり支援金)

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



◆げんすけの森柏茂交流会館（旧柏茂会館）

6月12日 オープニングセレモニーを開催

名称が「げんすけの森 柏茂交流会館」に決まる

クラウドファンディングの実施

4月16日～6月23日 GoodMorningサイトで実施 676,780円

その他の手法での寄付 1,039,650円（前年度からの合計）

修繕関係

7月9日 畳の入れ替え

7月26日 屋根裏の洗浄と除菌

8月中旬 U字溝、浸透枠の設置

1月18日 建物の安全確認

3月12日 床下調湿材の設置

宿泊旅行統計調査に協力（2022年1月から2年間）

げんすけの森 柏茂交流会館のホームページを作成した

<https://sites.google.com/npoaon.com/hakumo>

げんすけの森 柏茂交流会館のパンフレットを作成した

成果：

オープニングセレモニーでは、塩尻市長、教育長、県議会議員、上小曾部区の4役、財産区会長などに出席いただき、活動の様子も見てもらうことができた。

課題：

8月の大霖では、床下に水が入り込んだと思われる。雨天時の状況を確認しつつ、室内の湿気対策を引き続きおこなっていく必要がある。

2-8 体験拠点の貸出業務（2020年7月～所有）

◆施設貸出

7月17日-18日 洗馬のサッカークラブ

8月17日-20日 東京の学習塾

◆備品貸出

施設利用時に備品の貸し出し 実績なし

わおんの主催事業の際に寝袋レンタルをおこなった

事業収益：179,630円（施設貸出）

51,600円（備品貸出）

成果：

柏茂交流会館を貸出できるように準備をし、2件実績ができた。

わおんの主催事業の際に寝袋レンタルを実施できた。

課題：

平日の貸し出しを増やしていきたい。

3：体験事業に関わる指導者育成事業

3-1 森カフェコーディネーター養成講座/主催事業（2015年度より実施）

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



未実施

3-2 サポーター向け勉強会

未実施

3-3 体験活動に関心のある人を対象にした勉強会

2月25日 こどもが主役の体験活動オンライン交流会

参加者 6名

4：地域の情報収集発信事業

4-1 メールマガジン発行

2021年4月～2022年3月 登録397人（↑136人）

月1回発行、お知らせがあるときは臨時号を発行

4-2 活動の動画配信

森林セラピーワークにて実施

4-3 げんすけがゆくの発行

未実施

5：地域の物産開発ならびに販売事業

5-1 げんすけグッズ/FR

げんすけのポロシャツの追加注文をした

希望者にサイズ、カラーのオーダーを受けてから発注

収益：ポロシャツ 24,950円

◆ 塩尻市内の店舗での販売

モナミ美容室、温（ぬくく）、木曽地場産センター

収益：地場産センター9,015円

◆ イベントでの販売

11月20日 しおじりまちづくりフェスティバル 収益：550円

事業収益：34,515（↑5,770円）

5-2 こどもたちの元気の源「ブランド」づくり/FR

未実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に



6：地域課題解決のための企画運営事業

6-1 出前イベント（ワークショップ）

依頼がなかったため、未実施

6-2 こども企画会議

未実施

— NPO法人の運営 —

1：理事、事務局の対外的な活動

・講師

7月31日 林業センター 虫の観察講師（理事長 山田勇）

・委員会・会議出席

塩尻市社会教育委員会議（理事長 山田勇）

塩尻市青少年問題協議会（理事長 山田勇）

EP0中部協働コーディネーター（理事長 山田勇）

塩尻市社会福祉協議会評議員（理事 萩場美穂子）

・その他

市民タイムス リレーコラム「のんびりあそぼう」掲載（理事長 山田勇）

日本NPO環境ネットワーク 事務局



2：法人内の活動

・会議

◆総会 4月25日 通常総会 @柏茂交流会館

◆理事会 4月4日 理事会 @柏茂交流会館

・広報

パンフレットの配布、Twitter・Facebook・Instagramの更新

松本市へのブース出展、コラボ企画等を実施→未実施

・ファンドレイジング

げんすけグッズの販売

柏茂交流会館の修繕のため、クラウドファンディングを実施した

・会員向けサービス

会員オリジナルげんすけカード（会員証）を発行

わおん♪会員通信を3ヶ月に1回発行

森カフェへの参加割引

・会員募集

森カフェをきっかけに会員が増えた

イベント受付の際などPRしたり、積極的にお誘いするようにした

・管理（顧客・備品）

会員管理をセールスフォースで実施中。

イベント参加者、サポーター情報を管理できるように整備中。

・会計、税務

引き続き、会計王を活用。

事務局は3ヶ月ごとにチェックした。

講師謝礼、給与に関して、源泉徴収を実施している（2016年1月～）

住民税は特別徴収を実施

PAYPAYの決済を導入した（2019年8月～）

・労務事務（法人事務）

社会保険への加入（2015年12月～）

・その他事務

書類データ：Google ドライブ 写真データ：box

遠隔会議：google meet/zoom 、日々の情報共有：google chat →実施

顧客情報等；セールスフォース 、タスク管理：Evernote →実施

こどもたちがもっと元気に輝く地域に

